



コンフィギュレーションのバージョン管理

コンフィギュレーションのバージョン管理機能により、シスコの実行コンフィギュレーションのコピーをデバイス上やデバイス外で維持および管理することができます。コンフィギュレーション置換機能では、実行コンフィギュレーションの保存されたコピーへのロールバックを行うためにコンフィギュレーションバージョン管理機能を使用します。

- [コンフィギュレーションのバージョン管理について \(1 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーションのバージョン管理の設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーションのバージョン管理の設定例 \(6 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(7 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーションのバージョン管理の機能情報 \(7 ページ\)](#)

コンフィギュレーションのバージョン管理について

コンフィギュレーションアーカイブ

シスコのコンフィギュレーションアーカイブは、**configure replace** コマンドにより提供されるコンフィギュレーションのロールバック機能を強化するために、シスコのコンフィギュレーションファイルのアーカイブを保存、整理、管理するメカニズムです。この機能の導入前にも、実行コンフィギュレーションのコピーを **copy running-config destination-url** コマンドを使用して保存し、ローカルやリモートに置換ファイルを保管できました。ただし、この方法ではファイルの自動管理を行うことはできませんでした。コンフィギュレーションの置換とロールバック機能により、実行コンフィギュレーションのコピーを自動的にコンフィギュレーションアーカイブに保存できます。アーカイブされたファイルはコンフィギュレーションのチェックポイントとして参照することができ、**configure replace** コマンドを使用してコンフィギュレーションを以前の状態に戻せます。

archive config コマンドを使用すると、シスコのコンフィギュレーションをコンフィギュレーションアーカイブに保存できます。その場合、標準のディレクトリとファイル名のプレフィクスが使用され、バージョン番号（およびオプションでタイムスタンプ）が自動的に付加されます。バージョン番号は連続したファイルを保存するごとに、1 つずつ大きくなります。この機能により、保存したコンフィギュレーションファイルを一貫して識別できます。アーカイブ

に保存する実行コンフィギュレーションの数は指定することができます。アーカイブ内のファイル数が上限値に達すると、次に最新のファイルが保存されるときに、最も古いファイルが自動的に消去されます。**show archive** コマンドを使用すると、コンフィギュレーションアーカイブに保存されているすべてのコンフィギュレーションファイルに関する情報が表示されます。

コンフィギュレーションファイルを保存するコンフィギュレーションアーカイブは、**configure replace** コマンドでを使用することによって、お使いのプラットフォームに応じて次のファイルシステムに配置できます。

- disk0 があるプラットフォーム : disk0:、disk1:、ftp:、pram:、rcp:、slavedisk0:、slavedisk1:、または tftp:
- disk0 がないプラットフォーム : bootflash:、ftp:、harddisk:、http:、pram:、rcp:、tftp:、usb0:、または usb1:

コンフィギュレーションのバージョン管理の設定方法

設定アーカイブの特性の設定

archive config コマンドを使用する前に、コンフィギュレーション アーカイブを設定しておく必要があります。コンフィギュレーションアーカイブの特性を設定するには、次の作業を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **archive**
4. **path url**
5. **maximum number**
6. **time-period minutes**
7. **end**
8. **archive config**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	configure terminal 例 :	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Device# configure terminal	
ステップ 3	<p>archive</p> <p>例 :</p> <pre>Device(config)# archive</pre>	<p>アーカイブ コンフィギュレーション モードを開始します。</p>
ステップ 4	<p>path url</p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-archive)# path bootflash:myconfig</pre>	<p>コンフィギュレーションアーカイブに、ファイルのディレクトリとファイル名プレフィックスを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェアプラットフォームによって、ファイルシステムの名前は、例に示しているものとは異なる可能性があります。 <p>(注) パスの部分でファイルの代わりにディレクトリを指定する場合、ディレクトリ名は path flash:/directory/ のように後ろにスラッシュを付ける必要があります。このスラッシュはファイル名の後ろでは必要ありません。ディレクトリを指定する場合にだけ使います。</p>
ステップ 5	<p>maximum number</p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-archive)# maximum 14</pre>	<p>(任意) 設定アーカイブに保存する実行設定のアーカイブ ファイルの最大数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> number 引数は、コンフィギュレーションアーカイブに保存される実行コンフィギュレーションのアーカイブ ファイル数の上限値を示します。指定できる範囲は 1 ~ 14 です。デフォルトは 10 です。 <p>(注) このコマンドを使用する前に、path コマンドを設定して、コンフィギュレーションアーカイブの位置とファイル名プレフィックスを指定しておく必要があります。</p>
ステップ 6	<p>time-period minutes</p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-archive)# time-period 10</pre>	<p>(任意) コンフィギュレーションアーカイブに現在実行中のコンフィギュレーションのアーカイブ ファイルを自動保存する間隔を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定アーカイブに現在の実行設定のアーカイブ ファイルをどれほどの頻度で自動保存するかを、minutes 引数により分単位で指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
		(注) このコマンドを使用する前に、 path コマンドを設定して、コンフィギュレーションアーカイブの位置とファイル名プレフィックスを指定しておく必要があります。
ステップ 7	end 例： Device(config-archive)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 8	archive config 例： Device# archive config	現在の実行設定ファイルを設定アーカイブに保存します。 (注) archive config コマンドを使用する前に、 path コマンドを設定する必要があります。

コンフィギュレーションのモニタリングとトラブルシューティング

手順の概要

1. **enable**
2. **show archive**
3. **debug archive versioning**
4. **debug archive config timestamp**
5. **exit**

手順の詳細

ステップ 1 enable

このコマンドを使用して、特権 EXEC モードをイネーブルにします。パスワードを入力します（要求された場合）。次に例を示します。

例：

```
Device> enable
Device#
```

ステップ 2 show archive

コンフィギュレーションアーカイブに保存されているファイルに関する情報を表示するには、次のコマンドを使用します。次に例を示します。

例：

```
Device# show archive

There are currently 1 archive configurations saved.
The next archive file will be named bootflash:myconfig-2
Archive # Name
0
1      bootflash:myconfig-1 <- Most Recent
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
```

次に、実行コンフィギュレーションのアーカイブ ファイルをいくつか保存した状態で **show archive** コマンドを使用した場合の出力例を示します。この例では、保存されるアーカイブ ファイルの最大数が 3 に設定されています。

例：

```
Device# show archive

There are currently 3 archive configurations saved.
The next archive file will be named bootflash:myconfig-8
Archive # Name
0
1      :Deleted
2      :Deleted
3      :Deleted
4      :Deleted
5      bootflash:myconfig-5
6      bootflash:myconfig-6
7      bootflash:myconfig-7 <- Most Recent
8
9
10
11
12
13
14
```

ステップ 3 debug archive versioning

このコマンドを使用して、コンフィギュレーション アーカイブのアクティビティのデバッグを有効にして、コンフィギュレーションの置換とロールバックをモニタおよびトラブルシューティングします。次に例を示します。

例：

```
Device# debug archive versioning
Jan  9 06:46:28.419:backup_running_config
Jan  9 06:46:28.419:Current = 7
```

```
Jan 9 06:46:28.443:Writing backup file bootflash:myconfig-7
Jan 9 06:46:29.547: backup worked
```

ステップ4 debug archive config timestamp

このコマンドを使用して、コンフィギュレーション置換操作の各必須段階の処理時間、および操作中のコンフィギュレーションファイルのサイズのデバッグをイネーブルにします。次に例を示します。

例：

```
Device# debug archive config timestamp
Device# configure replace bootflash:myconfig force
Timing Debug Statistics for IOS Config Replace operation:
  Time to read file slot0:sample_2.cfg = 0 msec (0 sec)
  Number of lines read:55
  Size of file          :1054
Starting Pass 1
  Time to read file system:running-config = 0 msec (0 sec)
  Number of lines read:93
  Size of file          :2539
  Time taken for positive rollback pass = 320 msec (0 sec)
  Time taken for negative rollback pass = 0 msec (0 sec)
  Time taken for negative incremental diffs pass = 59 msec (0 sec)
  Time taken by PI to apply changes = 0 msec (0 sec)
  Time taken for Pass 1 = 380 msec (0 sec)
Starting Pass 2
  Time to read file system:running-config = 0 msec (0 sec)
  Number of lines read:55
  Size of file          :1054
  Time taken for positive rollback pass = 0 msec (0 sec)
  Time taken for negative rollback pass = 0 msec (0 sec)
  Time taken for Pass 2 = 0 msec (0 sec)
Total number of passes:1
Rollback Done
```

ステップ5 exit

このコマンドを使用して、ユーザ EXEC モードに戻ります。次に例を示します。

例：

```
Device# exit
Device>
```

コンフィギュレーションのバージョン管理の設定例

例：コンフィギュレーションアーカイブの作成

次の例は、コンフィギュレーションアーカイブの初期設定を実行する方法を示しています。この例では、`bootflash:myconfig` がコンフィギュレーションアーカイブの保存位置およびファイル名のプレフィックスとして設定され、保存するアーカイブファイルが最大 10 個に設定され

ます。ハードウェア プラットフォームによって、ファイル システムの名前は、例に示しているものとは異なる可能性があります。

```
configure terminal
!
archive
 path bootflash:myconfig
 maximum 10
end
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
コンフィギュレーションファイルの管理 についての情報	『コンフィギュレーションファイルの管理 コンフィギュレーションガイド』の「 コンフィギュレーションファイルの管理」 モジュール
コンフィギュレーションファイルを管理 するためのコマンド	Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

コンフィギュレーションのバージョン管理の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: コンフィギュレーションのバージョン管理の機能情報

機能名	リリース	機能情報
コンフィギュレーションのバージョン管理	12.2(25)S 12.2(33)SRA 12.3(7)T Cisco IOS XE Release 2.1	<p>コンフィギュレーションのバージョン管理機能により、シスコの実行コンフィギュレーションのコピーをデバイス上やデバイス外で維持および管理することができます。コンフィギュレーション置換機能では、実行コンフィギュレーションの保存されたコピーへのロールバックを行うためにコンフィギュレーションバージョン管理機能を使用します。</p> <p>次のコマンドが導入または変更されました。archive config、debug archive versioning、log config、maximum、path（アーカイブの設定）、show archive、time-period、write-memory</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。